

2024年3月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+36.2	大 宮 店	+1.3
堺 店	+0.5	柏 店	※2 +4.0
京 都 店	※1 +27.5	(株)高島屋各店計	+21.2
泉 北 店	+1.3	岡 山 高 島 屋	△5.1
日 本 橋 店	+23.5	岐 阜 高 島 屋	+7.7
横 浜 店	+14.0	高 崎 高 島 屋	+10.4
新 宿 店	+16.1	国 内 百 貨 店 計	+20.0
玉 川 店	+20.7		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、2023年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+30.8%となります。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

■ 概況

○店頭売上高(※既存店対比)は、前年比+20.0% 2019年比+16.4% 2018年比+18.2%といずれも上回りました。

国内顧客は、スカーフなどの春物雑貨や卒入学式をはじめとするオケーション対応の衣料品(ワンピースなど)が堅調に推移しました。また、インバウンドは、ラグジュアリーブランドを中心とする高額品が売上高を押し上げ、単月としては過去最高を更新しました。

店頭売上高	前年比+20.0%	2019年比+13.2% (※+16.4%)	2018年比+14.6% (※+18.2%)
免税売上高	前年比+168.8%	2019年比+63.8% (※+64.3%)	2018年比+75.8% (※+76.5%)
免税を除いた店頭売上高	前年比+11.3%	2019年比+8.5% (※+11.8%)	2018年比+9.2% (※+12.9%)

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、堺店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、大宮店、柏店、岐阜店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士服、紳士雑貨、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、美術、食料品が前年実績を上回りました。

以 上